

TASCAM HS-2/HS-20/HS-2000

CONTROL I/O 端子

RS-232C プロトコル仕様書

Ver. 1.21

2021 年 3 月

ティアック株式会社

ご注意

ティアック株式会社(以下、弊社といいます)は、本仕様書記載のプロトコルにつきまして、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件にご同意されることを前提として、ご使用を許諾申し上げます。

以下のプロトコル使用約款の条件にご同意頂けない場合は、本件プロトコルをご使用になることはできませんので本仕様書をご返却下さい。また、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おき下さい。

プロトコル使用約款

1. 本契約は、お客様が本プロトコルのご使用を開始したときから発効します。
2. 弊社は、該当するタスカム製品と互換性を有する装置(ソフトウェアを含む)を開発するために「使用」する非独占的、譲渡不能の権利をお客様に許諾します。
3. お客様が本仕様書を入手されたことは、本使用約款に規定された以外に本プロトコルのいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本仕様書が弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識下さい。本プロトコルに係る一切の知的財産権は、弊社若しくは弊社への供給元に帰属しております。
4. (1) お客様は、本仕様書を複製することはできません。
(2) お客様は、本仕様書を弊社の事前承諾無く、第三者に譲渡することはできません。
(3) 本仕様書は、弊社に帰属する秘密情報が記載されておりますので、お客様は、弊社の事前承諾無く、第三者に開示することはできません。
5. 本仕様書および本プロトコルは、現状あるがままの状態を提供申し上げるものです。弊社は、本仕様書の記載事項や本プロトコルが、お客様の特定の使用目的に適合するか、或いは、誤りがないか、について何等の保証するものではありません。
6. 弊社は、本仕様書の記載内容について、お客様のお問い合わせに対応することはできません。
7. 弊社は、本仕様書および本プロトコルの使用や使用不能から生じたいかなる損害(事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など)についても責任を負いません、例え、その損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

以上

1. 概要

HS-2/HS-2000 に装備の CONTROL I/O 端子(RS-232C)を使用して、コンピューターなどの外部機器より HS-2/HS-2000 を制御することが可能です。ここでは HS-2/HS-2000 は被制御機器となります。また、外部より制御を行う機器は制御機器となります。

2. 仕様

電氣的仕様

準拠規格

JIS X-5101 (旧 JIS C-6361、EIA RS-232C 相当)
(業務用 VTR 等の RS-422A との互換性はありません)

受信器側のインピーダンス

±3～15V の印加電圧で測定して、3KΩ以上、7KΩ以下の直流抵抗
総合実行負荷容量は 2500pF 以下

送信器側の開放回路電圧

25V 以下

受信器側の開放回路電圧

2V 以下

信号電圧

受信器側の開放回路電圧が 0V の場合、3K～7KΩの負荷抵抗に対して、±5V
～±15V

信号の識別

論理“1”

-3V 以下

論理“0”

+3V 以上

通信仕様

回路形態

3線式、半二重

伝送形態

デジタル2進直列伝送

データ信号速度

4800/9600/19200/38400 bit/sec

キャラクタ長

7/8 bit

パリティビット

奇数/偶数/なし

ストップビット

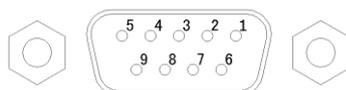
1/2 bit

※データ信号速度、キャラクタ長、パリティビット、ストップビットの設定は、HS-2 本体で設定します。

ピン配列

コネクタ

D-sub 9pin メス(インチネジ)

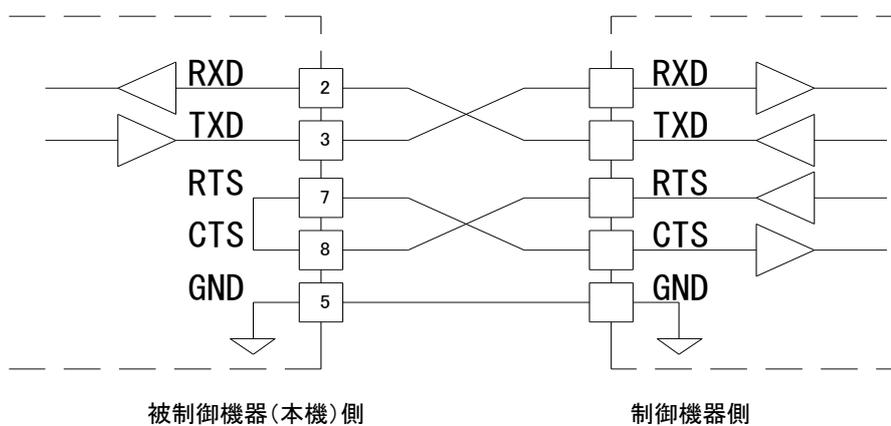


端子のピン配置と入出力信号

ピン番号	In/Out	信号名称	内容
1	-	NC	未使用
2	In	Rx Data	受信データ *1
3	Out	Tx Data	送信データ
4	Out	(Reserved)	予約済み
5	-	GND	グランド
6	In	(Reserved)	予約済み
7	In	RTS	Request To Send(送信要求の入力) *2
8	Out	CTS	Clear To Send(受信準備完了の出力) *2
9	-	NC	未使用

*1: Rx Data へは、RS-232C 規格を満足する電圧を加えてください。

*2: RTS/CTS は被制御機器内部にてループバック接続されています。RTS/CTS 制御を行う場合、制御機器側の設計をご考慮ください。



3. コマンドフォーマット

コマンドフォーマット概要

コマンドフォーマットを次に示します。

Byte 1	Byte 2	Byte 3	Byte 4	Byte 5	Byte 6	Byte 7	Byte 8	...	Byte n
LF	ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	...	CR

コマンドは「ラインフィード(LF)」で始まり、「キャリッジリターン(CR)」で終わる、ASCII フォーマットを基調としたものとなっています。ただし、プロジェクト名などの文字列に対しては UTF-8 を使用します。

LFの次のバイトはマシン ID です。マシン ID については後述します。

コマンドは 2 バイトの ASCII で表します。

コマンドに続くバイト列はデータを表し、0 バイト以上(データがないコマンドの場合)、最大 123 バイトとなっています。データの詳細については、各コマンドの詳細を参照してください。なお、データ値として 0~9 および A~F を使用するコマンドにおける A~F は大文字キャラクタを使用します。

コマンドの具体例

例 1: ID=0 の被制御機器に PLAY コマンドを送る場合

停止または再生待機時、このコマンドにより被制御機器は再生を開始します。

PLAY コマンドは[12]であり、次のように送信します。

	ID	Command		CR	
ASCII	LF	0	1	2	CR
HEX	0Ah	30h	31h	32h	0Dh

例 2: ID=0 の被制御機器に 123 テイク目のダイレクトサーチを指示する場合

この動作を行うためのコマンドは”DIRECT TRACK (TAKE) SEARCH PRESET [23]”を送信します。

データ・バイトは 2 バイト単位の ASCII で構成されています。

”DIRECT TRACK (TAKE) SEARCH PRESET”コマンドのテイク番号指定は次のようになります。

Data 1 指定するテイク番号の十の桁

Data 2 指定するテイク番号の一の桁

Data 3 指定するテイク番号の千の桁

Data 4 指定するテイク番号の百の桁

従って、送信コマンドは次のようになります。

	ID	Command			Data: 123 テイク				CR
ASCII	LF	0	2	3	2	3	0	1	CR
HEX	0Ah	30h	32h	33h	32h	33h	30h	31h	0Dh

マシン ID

本機は、Machine ID=0 でコマンドの受信およびリターンの送信を行います。

Machine ID=0 以外の ID を持つコマンドを受信した場合は、そのコマンドを無視します。

未対応なコマンドを受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

コマンド一覧

コマンドの一覧は次のとおりです。

Control/Preset/Sense Command		Return Command		Adapted F/W Ver	
				2000	20
0F	INFORMATION REQUEST	8F	INFORMATION RETURN		
10	STOP				
12	PLAY				
13	RECORD				
14	PAUSE				
16	SEARCH				
19	FLASH START				
1A	SKIP				
1B	JOG	9B	JOG RETURN		
1C	SHUTTLE	9C	SHUTTLE RETURN		
1D	CALL				
20	AUTO CUE LEVEL PRESET	A0	AUTO CUE LEVEL RETURN		
23	DIRECT TRACK SEARCH PRESET				
27	CLOCK DATA PRESET	A7	CLOCK DATA RETURN		
2C	TIME SEARCH PRESET				
2F	DIGITAL VOLUME DATA PRESET	AF	DIGITAL VOLUME DATA RETURN		
30	AUTO CUE SELECT	B0	AUTO CUE SELECT RETURN		
36	AUTO READY SELECT	B6	AUTO READY SELECT RETURN		
37	REPEAT SELECT	B7	REPEAT SELECT RETURN		
3A	INCR PLAY SELECT	BA	INCR PLAY SELECT RETURN		
4C	REMOTE/LOCAL SELECT	CC	REMOTE/LOCAL SELECT RETURN		
4D	PLAY MODE SELECT				
4E	PLAY MODE SENSE	CE	PLAY MODE RETURN		
50	MECHA STATUS SENSE	D0	MECHA STATUS RETURN		
55	TRACK No. STATUS SENSE	D5	TRACK No. STATUS RETURN		
57	CURRENT TRACK INFORMATION SENSE	D7	CURRENT TRACK INFORMATION RETURN		
58	CURRENT TRACK TIME SENSE	D8	CURRENT TRACK TIME RETURN		
59	TITLE SENSE	D9	TITLE RETURN		
5D	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE	DD	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN		
5F	KEYBOARD TYPE SENSE	DF	KEYBOARD TYPE RETURN		
		F0	ERROR SENSE REQUEST		
		F1	CAUTION SENSE REQUEST		
		F2	ILLEGAL STATUS		
		F4	POWER ON STATUS		
		F6	CHANGE STATUS		
78	ERROR SENSE	F8	ERROR SENSE RETURN		
79	CAUTION SENSE	F9	CAUTION SENSE RETURN		
7F	VENDER COMMAND	FF	VENDER COMMAND RETURN		

ベンダコマンド一覧

ベンダコマンド(Command 7F / FF)の一覧は次のとおりです。

コマンドコードは、Command(2バイト)、Category Code(2バイト)、Sub Command(2バイト)を組み合わせたものを記載しています。詳細については、31 ページ以降をご覧ください。

Control/Sense Command		Return Command		Adapted F/W Ver	
				2000	20
7F01	DEVICE SELECT	FF01	DEVICE SELECT RETURN		
7F021A	SESSION SKIP				
7F0223	DIRECT SESSION SEARCH PRESET				
7F0240	CREATE PROJECT	FF02C0	PROJECT CREATE RETURN		
7F0241	MAKE SESSION				
7F0242	REBUILD PROJECT	FF02C2	PROJECT REBUILD ACK	1.21	
7F0244	DELETE SESSION/PROJECT	FF02C4	DELETE SESSION/PROJECT ACK		
7F0255	SESSION No STATUS SENSE	FF02D5	SESSION No RETURN		
7F0259	SESSION NAME SENSE	FF02D9	SESSION NAME RETURN		
7F025A	PROJECT NAME SENSE	FF02DA	PROJECT NAME RETURN		
7F025D	TOTAL SESSION No SENSE	FF02DD	TOTAL SESSION No RETURN		
7F025E	TOTAL PROJECT No SENSE	FF02DE	TOTAL PROJECT No RETURN		
		FF02F6	SESSION CHANGE STATUS		
7F0310	MARK SET				
7F0323	DIRECT MARK SKIP PRESET				
7F0344	DELETE MARK				
7F0355	MARK No. STATUS SENSE	FF03D5	MARK No. RETURN		
7F0358	MARK TIME SENSE	FF03D8	MARK TIME RETURN		
7F035D	TOTAL MARK No SENSE	FF03DD	TOTAL MARK No RETURN		
7F0400	FLASH PAGE SELECT	FF0480	FLASH PAGE RETURN		
7F041A	FLASH PAGE SKIP				
7F0457	CURRENT ENTRY INFORMATION SENSE	FF04D7	CURRENT ENTRY INFORMATION RETURN		
7F045D	FLASH READY ENTRY SENSE	FF04DD	FLASH READY ENTRY RETURN		
7F0511	ONLINE SELECT	FF0511	ONLINE SELECT RETURN		
7F0600	CHASE SELECT	FF0680	CHASE SELECT RETURN		
7F0900	OPERATION MODE SELECT	FF0980	OPERATION MODE SELECT RETURN		
7F1001	MEDIA REMAIN SENSE	FF1081	MEDIA REMAIN RETURN		
7F1044	MEDIA FORMAT				
7F1510	RETAKE	FF1590	RETAKE ACK	1.20	
7F151A	REGION SKIP			1.20	
7F4010	SET POINT	FF4090	POINT RETURN		
7F4020	BOUNCE	FF40A0	BOUNCE ACK/RETURN		
7F4120	TIME LINE CUT	FF41A0	TIME LINE CUT ACK		
7F4121	TIME LINE COPY	FF41A1	TIME LINE COPY ACK		
7F4122	TIME LINE INSERT	FF41A2	TIME LINE INSERT ACK		
7F4123	TIME LINE PASTE	FF41A3	TIME LINE PASTE ACK		
7F4130	TIME LINE ERASE	FF41B0	TIME LINE ERASE ACK		
7F4160	TIME LINE EDIT UNDO	FF41E0	TIME LINE EDIT UNDO ACK		
7F4161	TIME LINE EDIT REDO	FF41E1	TIME LINE EDIT REDO ACK		
7F4170	TIME LINE EDIT SAVE	FF41F0	TIME LINE EDIT SAVE ACK		
7F4230	TAKE ERASE	FF42B0	TAKE ERASE ACK		

コマンド・シーケンス

制御機器が送信するトランスポート・コントロールやデータのプリセット・コマンドに対して、ほとんどの場合、被制御機器より ACK は送信しません。

被制御機器に設定されているデータ値を返信するよう要求するデータ・センス・コマンドに対しては、被制御機器はリターン・コマンドを返信します。

また被制御機器が停止状態から再生状態に変わるなど、状態変化が生じたとき、およびエラー等が発生したときには、被制御機器はそれらを通知するコマンドを制御機器に対して送信します。

以下に、コマンド・シーケンスの例を述べます。

なお、コマンドとコマンドの間は 20ms 以上あけてください。

例 1: 被制御機器のトランスポート・コントロールを行う

ここでは再生を行う例を述べます。

被制御機器は PLAY コマンドを受信して再生状態になると CHANGED STATUS コマンドを送信します。

PLAY コマンドについての ACK は送信しません。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
PLAY	->	停止状態
	<- CHANGED STATUS	再生状態になると送信

例 2: データをプリセットする

ここでは AUTO CUE LEVEL のプリセット例を述べます。

被制御機器は AUTO CUE LEVEL PRESET (Preset)コマンドを受信すると AUTO CUE LEVEL を設定します。

このコマンドについての ACK は送信しません。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
AUTO CUE LEVEL PRESET (Preset -54dB)	->	AUTO CUE LEVEL を-54dB に設定

例 3: 設定されているデータを取得する

ここでは設定されている AUTO CUE LEVEL を取得する例を述べます。

被制御機器は AUTO CUE LEVEL PRESET (Sense)コマンドを受信すると、設定されている AUTO CUE LEVEL を返信します。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
AUTO CUE LEVEL PRESET (Sense)	->	
	<- AUTO CUE LEVEL RETURN	

例 4: 被制御機器のステータスを確認して次の動作を行う

被制御機器は動作状態が変わると CHANGED STATUS を送信します。CHANGED STATUS をトリガーとして MECHA STATUS SENSE を送信すると、新たな動作状態を確認することができます。

ここでは被制御機器の録音待機状態を確認してから、録音を開始する場合を述べます。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
RECORD (Record Ready)	->	停止状態
	<- CHANGED STATUS	録音待機状態になると送信
MECHA STATUS SENSE	->	
	<- MECHA STATUS RETURN	録音待機状態を返信
RECORD (Record)	->	
	<- CHANGES STATUS	録音状態になると送信

コマンド詳細

ここに記載されているコマンドやデータ、マシン ID はキャラクタ(ASCII)です。

Command は 2 バイトのキャラクタ、Machine ID は 1 バイトのキャラクタ、Data は 1 バイトずつのキャラクタです。本機で扱うことが可能なテイク、セッション、プロジェクト番号の仕様は次のとおりです。ただし、存在しない番号を指定された場合は無効なコマンドとみなします。

テイク番号	最大 999
セッション番号	最大 999
プロジェクト番号	最大 99

INFORMATION REQUEST

被制御機器のソフトウェア・バージョン等の情報を返信するよう要求します。

Command	0F
Machine ID	0
Data	なし
Return	INFORMATION RETURN [8F]

STOP

被制御機器を停止にします。

Command	10
Machine ID	0
Data	なし
Return	なし

PLAY

被制御機器を再生にします。

録音待機からの録音開始は、RECORD (Record)を使用してください。

Command	12
Machine ID	0
Data	なし
Return	なし

RECORD

被制御機器を録音、または録音待機にします。

Command	13
Machine ID	0
Data	2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Record	録音待機から録音を開始します。
0	1	Record Pause	録音待機にします。
2	0	Over Write Record	上書き録音を開始します。(タイムラインモードのみ)

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return	なし
--------	----

PAUSE

被制御機器を再生待機にします。

録音の一時停止は、RECORD (Record Pause)を使用してください。

Command	14
Machine ID	0
Data	2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	1	Pause On	再生待機にします。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return	なし
--------	----

SEARCH

被制御機器をサーチ再生にします。

STOP、PLAY、PAUSE 等のコマンドを受信するまでサーチ再生を継続します。

Command 16

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Search Forward(Normal)	順方向サーチ再生モードにします。(標準スピード)
0	1	Search Reverse (Normal)	逆方向サーチ再生モードにします。(標準スピード)
1	0	Search Forward(High)	順方向サーチ再生モードにします。(ハイスピード)
1	1	Search Reverse (High)	逆方向サーチ再生モードにします。(ハイスピード)

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

FLASH START

被制御機器で指定されたテイク/エントリーをフラッシュスタートします。

オペレーションモードがタイムラインモードでは ILLEGAL[F2]を返信します。

Command 19

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク番号の十の桁	テイク/エントリー番号 例) 1400:テイク/エントリー14
Data 2	テイク番号の一の桁	
Data 3	テイク番号の千の桁	
Data 4	テイク番号の百の桁	

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

SKIP

被制御機器でスキップします。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、リージョンスキップします。

オペレーションモードがプレイリストモードでは、エントリースキップします。その他のオペレーションモードでは、テイクスキップします。

すべてのオペレーションモードで、マークスキップします。

スキップ後は、スキップ直前の状態を維持します。

Command 1A

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Track Skip Next	次のテイク/エントリー/リージョンにスキップします。
0	1	Track Skip Previous	現在位置が先頭から 1 秒未満のときは、一つ前に、それ以外のときは、現在のテイク/エントリー/シージョンの先頭にスキップします。
2	0	Mark Skip Next	次のマークにスキップします
2	1	Mark Skip Previous	前のマークにスキップします。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

JOG

被制御機器で JOG 再生をします。

Data の値で JOG 再生のスピードを可変します。

Command 1B

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	OFF	JOG 再生を解除します
0	1	ON	JOG 再生にします。
1	0	FWD x0.0	PAUSE
1	1	FWD x0.1	0.1 倍速で順方向に再生します。
1	2	FWD x0.2	0.2 倍速で順方向に再生します。
1	3	FWD x0.3	0.3 倍速で順方向に再生します。
1	4	FWD x0.4	0.4 倍速で順方向に再生します。
1	5	FWD x0.5	0.5 倍速で順方向に再生します。
1	6	FWD x0.6	0.6 倍速で順方向に再生します。
1	7	FWD x0.7	0.7 倍速で順方向に再生します。
1	8	FWD x0.8	0.8 倍速で順方向に再生します。
1	9	FWD x0.9	0.9 倍速で順方向に再生します。
1	A	FWD x1.0	1.0 倍速で順方向に再生します。
2	0	RWD x0.0	PAUSE
2	1	RWD x0.1	0.1 倍速で逆方向に再生します。
2	2	RWD x0.2	0.2 倍速で逆方向に再生します。
2	3	RWD x0.3	0.3 倍速で逆方向に再生します。
2	4	RWD x0.4	0.4 倍速で逆方向に再生します。
2	5	RWD x0.5	0.5 倍速で逆方向に再生します。
2	6	RWD x0.6	0.6 倍速で逆方向に再生します。
2	7	RWD x0.7	0.7 倍速で逆方向に再生します。
2	8	RWD x0.8	0.8 倍速で逆方向に再生します。
2	9	RWD x0.9	0.9 倍速で逆方向に再生します。
2	A	RWD x1.0	1.0 倍速で逆方向に再生します。
F	F	Sense	JOG のオン/オフを返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return JOG RETURN [9B]

SHUTTLE

被制御機器で SHUTTLE をします。

Data の値で SHUTTLE のスピードを可変します。

Command 1C

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	OFF	SHUTTLE を解除します
0	1	ON	SHUTTLE にします。
1	0	FWD x0.0	PAUSE
1	1	FWD x2.0	2 倍速で順方向に再生します。
1	2	FWD x4.0	4 倍速で順方向に再生します。
1	3	FWD x8.0	8 倍速で順方向に再生します。
1	4	FWD x16.0	16 倍速で順方向に再生します。
1	5	FWD x32.0	32 倍速で順方向に再生します。
2	0	RWD x0.0	PAUSE
2	1	RWD x2.0	2 倍速で逆方向に再生します。
2	2	RWD x4.0	4 倍速で逆方向に再生します。
2	3	RWD x8.0	8 倍速で逆方向に再生します。
2	4	RWD x16.0	16 倍速で逆方向に再生します。
2	5	RWD x32.0	32 倍速で逆方向に再生します。
F	F	Sense	SHUTTLE のオン/オフを返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return SHUTTLE RETURN [9C]

CALL

被制御機器をコールポイントにロケートさせ、再生待機にします。

Command 1D

Machine ID 0

Data なし

Return なし

AUTO CUE LEVEL PRESET

被制御機器のオートキューレベルを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

オートキュー機能のオン/オフはコマンド”AUTO CUE SELECT [30]”で行います。

Command 20

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Preset -24dB	
0	1	Preset -30dB	
0	2	Preset -36dB	
0	3	Preset -42dB	
0	4	Preset -48dB	
0	5	Preset -54dB	
0	6	Preset -60dB	
0	7	Preset -66dB	
0	8	Preset -72dB	
F	F	Sense	プリセットされているレベルを返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO CUE LEVEL RETURN [A0]

DIRECT TRACK SEARCH PRESET

テイク/エントリー番号を指定してダイレクトサーチします。

ダイレクトサーチ後の被制御機の動作は、本コマンドのデータフォーマット(データ長)によって異なります。

[Data 長が 4 バイトのとき]

ダイレクトサーチ後もそのモードを維持します。

[Data 長が 6 バイトのとき]

ダイレクトサーチ後の動作は、Data 5 / 6 での指定に従います。

Command 23

Machine ID 0

Data 4 bytes or 6 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク/エントリー番号の十の桁	テイク/エントリー番号 例) 2301:テイク/エントリー123
Data 2	テイク/エントリー番号の一の桁	
Data 3	テイク/エントリー番号の千の桁	
Data 4	テイク/エントリー番号の百の桁	

[Data 長が 6 バイトのとき、動作指定コードとして以下の Data が続きます]

Data 5	Data 6	動作	備考
1	2	PLAY	
1	4	PAUSE	

- ・ 存在しないテイク番号、未登録のエントリー番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ Data 5 / 6 の動作指定コードで表に無いコードを指定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

CLOCK DATA PRESET

被制御機器に、日付・時間情報を設定します。

Data 1 と Data2 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 27

Machine ID 0

Data 10 byte または 2byte

	内容	備考
Data 1	西暦年の十の桁	例) 0802231234:2008 年 2 月 23 日 12 時 34 分
Data 2	西暦年の一の桁	
Data 3	月の十の桁	
Data 4	月の一の桁	
Data 5	日の十の桁	
Data 6	日の一の桁	
Data 7	時の十の桁	
Data 8	時の一の桁	
Data 9	分の十の桁	
Data 10	分の一の桁	

- ・ 存在しない日付や時間を設定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return CLOCK DATA PRESET RETURN [A7]

TIME SEARCH PRESET

テイク/エントリー番号および時刻を指定してサーチします。

サーチ後の被制御機の動作は、本コマンドのデータフォーマット(データ長)によって異なります。

[Data 長が 12 バイトのとき]

サーチ後も状態を維持します。

[Data 長が 14 バイトのとき]

サーチ後の動作は、Data 13 / 14 での指定に従います。

Command 2C

Machine ID 0

Data 12 bytes or 14bytes

	内容	備考
Data 1	テイク/エントリー番号の十の桁	タイムラインモードではテイク/エントリーの概念が無いので1(0100)固定にする。
Data 2	テイク/エントリー番号の一の桁	
Data 3	テイク/エントリー番号の千の桁	
Data 4	テイク/エントリー番号の百の桁	
Data 5	時の十の桁	
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

[Data 長が 14 バイトのとき、以下の Data が続きます]

Data 13	Data 14	動作	備考
1	2	PLAY	
1	4	PAUSE	

- ・ 存在しないテイク番号、未登録のエントリー番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ 動作仕様範囲外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ Data 13 / 14 の動作指定コードで表に無いコードを指定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

DIGITAL VOLUME DATA PRESET

接続機器のデジタルボリュームをデシベル (dB) 値で設定します。

Data 1 と Data2 に Sense [FF] を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 2F

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	設定値の 1 の桁	例: "0512": -20.5dB
Data 2	設定値の 0.1 の桁	
Data 3	+ : 0 / - : 1	
Data 4	設定値の 10 の桁	

- ・仕様範囲外DATAを受信した場合、接続機器はILLEGAL (F2H) を送出します。
- ・ $-\infty$ dB を設定するには、DATA1～DATA4 に“AAAA”を設定します。

Return DIGITAL VOLUME DATA RETURN [AF]

AUTO CUE SELECT

被制御機器のオートキュー機能のオン/オフを設定します。

Sense [FF] を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

オートキューレベルの設定はコマンド“AUTO CUE LEVEL PRESET [20]”で行います。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、本コマンドは無視されます。

Command 30

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Cue Off	
0	1	Auto Cue On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return AUTO CUE SELECT RETURN [B0]

AUTO READY SELECT

被制御機器のオートレディ機能のオン/オフを設定します。

Sense [FF] を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、本コマンドは無視されます。

Command 36

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Ready Off	
0	1	Auto Ready On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return AUTO READY SELECT RETURN [B6]

REPEAT SELECT

被制御機器のリピート再生のオン/オフを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 37

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Repeat Off	
0	1	Repeat On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return REPEAT SELECT RETURN [B7]

INCR PLAY SELECT

被制御機器のインクリメンタルプレイ機能のオン/オフを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、本コマンドは無視されます。

Command 3A

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	INCR Play Off	
0	1	INCR Play On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return INCR PLAY SELECT RETURN [BA]

REMOTE/LOCAL SELECT

被制御機器の本体での操作を有効または無効にします。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 4C

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Remote	CONTROL I/O (RS-232C, RS-422, PARALLEL) によるリモート操作のみを有効とします。本体パネルでのキー操作は無効とします。
0	1	Local	リモート操作および本体パネルでのキー操作を有効とします。
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return REMOTE/LOCAL SELECT RETURN [CC]

PLAY MODE SELECT

被制御機器のプレイモードを設定します。

なお、プレイモードの確認はコマンド”PLAY MODE SENSE [4E]”で行います。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、本コマンドは無視されます。

Command 4D

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	All Take	カレントセッション内の全テイクを再生
0	1	One Take	カレントテイクのみ再生

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

PLAY MODE SENSE

被制御機器のプレイモードを返信するよう要求します。

Command 4E
Machine ID 0
Data なし
Return PLAY MODE RETURN [CE]

MECHA STATUS SENSE

被制御機器の稼動状態情報を返信するよう要求します。

Command 50
Machine ID 0
Data なし
Return MECHA STATUS RETURN [D0]

TRACK No. STATUS SENSE

現在、位置しているテイク/エントリー番号を返信するよう要求します。

Command 55
Machine ID 0
Data なし
Return TRACK No. STATUS RETURN [D5]

CURRENT TRACK INFORMATION SENSE

現在、位置しているテイク/エントリーの情報を返信するよう要求します。

録音中は ILLEGAL[F2]を返信します。

Command 57
Machine ID 0
Data なし
Return CURRENT TRACK INFORMATION RETURN [D7]

CURRENT TRACK TIME SENSE

現在位置しているテイク(録音時は録音しているテイク)/エントリーの時間情報を、指定された形式で返信するよう要求します。(MSF 形式=分、秒、フレーム/HMSF 形式=時、分、秒、フレーム)

MSF 形式での要求時、9999 分を超える場合、HMSF 形式での要求時、100 時間を超える場合、全ての時間情報を“--”で返信します。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、Total Elapsed Time を要求した際は Elapsed Time の情報が返信されます。録音/録音待機状態で無い場合、Remain Time/Total Remain Time を要求されると、ILLEGAL[F2] を送信します。

※HS-2/HS-20 は、MSF 形式での要求コマンドには対応していません。

Command 58

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Elapsed Time	MSF 形式のテイク/エントリー経過時間/タイムライン ABS 時間
0	1	Remain Time	MSF 形式のテイク/エントリーの残量時間(録音時は Max ファイルサイズからの録音可能残量)/録音時のみタイムライン残量時間(ABS24 時間からの残量、または Max ファイルサイズ残量)
0	2	Total Elapsed Time	MSF 形式のセッション全体での経過時間/タイムライン ABS 時間
0	3	Total Remain Time	MSF 形式のセッション全体での残量時間(録音時はメディアの録音可能残量)/タイムライン録音時のみタイムライン残量時間(ABS24 時間からの残量、またはメディア残量)
0	4	Timecode Time	MSF 形式のタイムコード時間
1	0	Elapsed Time	HMSF 形式のテイク/エントリー経過時間/タイムライン ABS 時間
1	1	Remain Time	HMSF 形式のテイク/エントリー残量時間(録音時は Max ファイルサイズからの録音可能残量)/録音時のみタイムライン残量時間(ABS24 時間からの残量、または Max ファイルサイズ残量)
1	2	Total Elapsed Time	HMSF 形式のセッション全体での経過時間/タイムライン ABS 時間
1	3	Total Remain Time	HMSF 形式のセッション全体での残量時間(録音時はメディアの録音可能残量)/タイムライン録音時のみタイムライン残量時間(ABS24 時間からの残量、またはメディア残量)
1	4	Timecode Time	HMSF 形式のタイムコード時間

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return CURRENT TRACK TIME RETURN [D8]

TITLE SENSE

指定したテイク/エントリーの名前を返信するよう要求します。
オペレーションモードがタイムラインモードでは ILLEGAL[F2]を送信します。

Command 59
Machine ID 0
Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク/エントリー番号の十の桁	テイク/エントリー番号 例) 2301:テイク/エントリー123
Data 2	テイク/エントリー番号の一の桁	
Data 3	テイク/エントリー番号の千の桁	
Data 4	テイク/エントリー番号の百の桁	

・ 存在しないテイク番号、未登録のエントリー番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TITLE RETURN [D9]

TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME SENSE

カレントの総テイク/エントリー数および合計時間を返信するよう要求します。
オペレーションモードがタイムラインモードでは ILLEGAL[F2]を送信します。

Command 5D
Machine ID 0
Data なし
Return TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME RETURN [DD]

KEYBOARD TYPE SENSE

被制御機器に接続されているキーボードの種類を返信するよう要求します。

Command 5F
Machine ID 0
Data なし
Return KEYBOARD TYPE RETURN [DF]

ERROR SENSE

現在のエラー状態を返信するよう要求します。

Command 78
Machine ID 0
Data なし
Return ERROR SENSE RETURN [F8]

CAUTION SENSE

現在の警告状態を返信するよう要求します。

Command 79
Machine ID 0
Data なし
Return CAUTION SENSE RETURN [F9]

VENDER COMMAND

本機固有の機能を制御するコマンドです。31 ページからの「ベンダコマンド詳細」を参照ください。

INFORMATION RETURN

コマンド”INFORMATION REQUEST [0F]”に対する返信コマンドです。
被制御機器のソフトウェア・バージョンを返信します。

Command 8F

Machine ID 0

Data 4 bytes

Data 1	ソフトウェア・バージョンの十の桁	Data 1 - Data 4 のデータ例 0100 Version 1.00
Data 2	ソフトウェア・バージョンの一の桁	
Data 3	ソフトウェア・バージョンの小数点第一位の桁	
Data 4	ソフトウェア・バージョンの小数点第二位の桁	

Request INFORMATION REQUEST [0F]

JOG RETURN

コマンド”JOG [1B]”に対する返信コマンドです。

Command 9B

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Jog Off	
0	1	Jog On	

Request/Preset JOG [1B]

SHUTTLE RETURN

コマンド”SHUTTLE [1C]”に対する返信コマンドです。

Command 9C

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Shuttle Off	
0	1	Shuttle On	

Request/Preset SHUTTLE [1C]

AUTO CUE LEVEL RETURN

コマンド”AUTO CUE LEVEL PRESET [20]”に対する返信コマンドです。
設定されているオートキューレベルを返信します。

Command A0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	-24dB	
0	1	-30dB	
0	2	-36dB	
0	3	-42dB	
0	4	-48dB	
0	5	-54dB	
0	6	-60dB	
0	7	-66dB	
0	8	-72dB	

Request/Preset AUTO CUE LEVEL PRESET [20]

CLOCK DATA RETURN

コマンド”CLOCK DATA PRESET [27]”に対する返信コマンドです。

設定されている日付・時計値を返信します。

Command A7

Machine ID 0

Data 12bytes

	内容	備考
Data 1	西暦年の十の桁	
Data 2	西暦年の一の桁	
Data 3	月の十の桁	
Data 4	月の一の桁	
Data 5	日の十の桁	
Data 6	日の一の桁	
Data 7	時の十の桁	
Data 8	時の一の桁	
Data 9	分の十の桁	
Data 10	分の一の桁	
Data 11	秒の十の桁	
Data 12	秒の一の桁	

Request/Preset CLOCK DATA PRESET [27]

DIGITAL VOLUME DATA RETURN

コマンド”DIGITAL VOLUME DATA PRESET [2F]”に対する返信コマンドです。

設定されているデジタルボリュームをデシベル(dB)値で返信します。

Command AF

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	設定値の 1 の桁	例:”0512”: -20.5dB
Data 2	設定値の 0.1 の桁	
Data 3	+ : 0 / - : 1	
Data 4	設定値の 10 の桁	

- ・ 設定が $-\infty$ dB のとき、DATA1～DATA4 に“AAAA”を送信します。

Request/Preset DIGITAL VOLUME DATA PRESET [2F]

AUTO CUE SELECT RETURN

コマンド”AUTO CUE SELECT [30]”に対する返信コマンドです。

オートキュー機能のオン/オフ状態を返信します。

Command B0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Cue Off	
0	1	Auto Cue On	

Request/Preset AUTO CUE SELECT [30]

AUTO READY SELECT RETURN

コマンド”AUTO READY SELECT [36]”に対する返信コマンドです。

オートレディ機能のオン/オフ状態を返信します。

Command B6

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Ready Off	
0	1	Auto Ready On	

Request/Preset AUTO READY SELECT [36]

REPEAT SELECT RETURN

コマンド”REPEAT SELECT [37]”に対する返信コマンドです。

リピート再生のオン/オフ状態を返信します。

Command B7

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Repeat Off	
0	1	Repeat On	

Request/Preset REPEAT SELECT [37]

INCR PLAY SELECT RETURN

コマンド”INCR PLAY SELECT [3A]”に対する返信コマンドです。

インクリメンタルプレイ機能のオン/オフ状態を返信します。

Command BA

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	INCR Play Off	
0	1	INCR Play On	

Request/Preset INCR PLAY SELECT [3A]

REMOTE/LOCAL SELECT RETURN

コマンド”REMOTE/LOCAL SELECT [4C]”に対する返信コマンドです。

本体パネルでのキー操作の有効/無効を返信します。

Command CC

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Remote	CONTROL I/O (RS-232C, RS-422, PARALLEL) によるリモート操作のみを有効とします。本体パネルでのキー操作は無効とします。
0	1	Local	リモート操作および本体パネルでのキー操作を有効とします。

Request/Preset REMOTE/LOCAL SELECT [4C]

PLAY MODE RETURN

コマンド”PLAY MODE SENSE [4E]”に対する返信コマンドです。

現在のプレイモードを返信します。

Command CE

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	All Take	カレントセッション内の全テイク/エントリーを再生
0	1	One Take	カレントテイク/エントリーのみ再生

Request/Presets PLAY MODE SENSE [4E]

MECHA STATUS RETURN

コマンド”MECHA STATUS SENSE [50]”に対する返信コマンドです。

現在の稼働状態情報を返信します。

Command D0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	No Media	メディアが挿入されていない
1	0	Stop	停止
1	1	Play	再生中
1	2	Ready On	再生待機
8	1	Record	録音中
8	2	Record Ready	録音待機
8	3	Information Writing	各種情報の書き込み中
F	F	Other	その他の状態

Request/Presets MECHA STATUS SENSE [50]

TRACK No. STATUS RETURN

コマンド”TRACK (TAKE) No. STATUS SENSE [55]”に対する返信コマンドです。

現在、位置しているテイク/エントリー番号を返信します。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、常に“1”を返信します。

Command D5

Machine ID 0

Data 6 bytes

	内容	備考
Data 1	00	常に固定値 “00”を返します。
Data 2		
Data 3	テイク/エントリー番号の十の桁	
Data 4	テイク/エントリー番号の一の桁	
Data 5	テイク/エントリー番号の千の桁	
Data 6	テイク/エントリー番号の百の桁	

Request/Presets TRACK No. SENSE [55]

CURRENT TRACK INFORMATION RETURN

コマンド”CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]”に対する返信コマンドです。

オペレーションモードがプレイリストデュアルモード、プレイリストミックスモード以外では MachineID=1 で指定された場合、本機は 0 を返信します。

Command D7

Machine ID 0/1

Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク/エントリー番号の十の桁	
Data 2	テイク/エントリー番号の一の桁	
Data 3	テイク/エントリー番号の千の桁	
Data 4	テイク/エントリー番号の百の桁	
Data 5	時の十の桁	
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

Request/Preset CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]

CURRENT TRACK TIME RETURN

コマンド”CURRENT TRACK TIME SENSE [58]”に対する返信コマンドです。

現在位置しているテイク(録音時は録音しているテイク)/エントリーの時間情報を、指定された形式で返信します。

(MSF 形式=分、秒、フレーム/HMSF 形式=時、分、秒、フレーム)

MSF 形式での要求時、9999 分を超える場合、HMSF 形式での要求時、100 時間を超える場合、Data3-10 の全ての時間情報を“--”で返信します。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、Total Elapsed Time を要求した際、Elapsed Time の情報が返信されます。録音/録音待機状態で無い場合、Remain Time/Total Remain Time を要求されると、ILLEGAL[F2]を送信します。

※HS-2/HS-20 は、MSF 形式での要求コマンドには対応していません。

Command D8

Machine ID 0/1

Data 10 bytes

	内容	備考
Data 1	Time Mode	00: MSF 形式のテイク/エントリー経過時間/タイムライン ABS 時間 01: MSF 形式のテイク/エントリー残量時間(録音時は Max ファイルサイズからの録音可能残量)/録音時のみタイムライン残量時間(ABS24 時間からの残量、または Max ファイルサイズ残量) 02: MSF 形式のセッション全体での経過時間/タイムライン ABS 時間 03: MSF 形式のセッション全体での残量時間(録音時はメディアの録音可能残量)/録音時のみタイムライン残量時間(ABS24 時間からの残量、またはメディア残量) 04: MSF 形式のタイムコード時間
Data 2		10: HMSF 形式のテイク/エントリー経過時間/タイムライン ABS 時間 11: HMSF 形式のテイク/エントリー残量時間(録音時は Max ファイルサイズからの録音可能残量)/録音時のみタイムライン残量時間(ABS24 時間からの残量、または Max ファイルサイズ残量) 12: HMSF 形式のセッション全体での経過時間/タイムライン ABS 時間 13: HMSF 形式のセッション全体での残量時間(録音時はメディアの録音可能残量)/録音時のみタイムライン残量時間(ABS24 時間からの残量、またはメディア残量) 14: HMSF 形式のタイムコード時間
Data 3	分の十/時の十の桁	00~04 時、分の十/一の桁(MSF 形式)
Data 4	分の一/時の一の桁	10~14 時、時の十/一の桁(HMSF 形式)
Data 5	分の千/分の十の桁	00~04 時、分の千/百の桁(MSF 形式)
Data 6	分の百/分の一の桁	10~14 時、分の十/一の桁(HMSF 形式)
Data 7	秒の十の桁	
Data 8	秒の一の桁	
Data 9	フレームの十の桁	
Data 10	フレームの一の桁	

Request/Preset CURRENT TRACK TIME SENSE [58]

TITLE RETURN

コマンド”TITLE SENSE [59]”に対する返信コマンドです。
 指定されたテイク/エントリーの名前を UTF-8 で返信します。
 オペレーションモードがタイムラインモードでは ILLEGAL[F2]を送信します。

Command D9
 Machine ID 0
 Data なし
 Data 5 bytes～123 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク/エントリー番号の十の桁	
Data 2	テイク/エントリー番号の一の桁	
Data 3	テイク/エントリー番号の千の桁	
Data 4	テイク/エントリー番号の百の桁	
Data 5 - Data123	タイトル文字列	UTF-8

・タイトルは 1 バイト以上 119 バイト以下です。

Request/Preset TITLE SENSE [59]

TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME RETURN

コマンド”TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME SENSE [5D]”に対する返信コマンドです。
 総テイク数および選択再生範囲の総時間を返信します。
 オペレーションモードがタイムラインモードでは ILLEGAL[F2]を送信します。

Command DD
 Machine ID 0
 Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	総テイク/エントリー数の十の桁	Data 1 - Data 4 が 0000 の場合は、セッションにテイク/エントリーが含まれていないか、メディアが挿入されていないことを示します。
Data 2	総テイク/エントリー数の一の桁	
Data 3	総テイク/エントリー数の千の桁	
Data 4	総テイク/エントリー数の百の桁	
Data 5	時の十の桁	
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

Request/Preset TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME SENSE [5D]

KEYBOARD TYPE RETURN

コマンド”KEYBOARD TYPE SENSE [5F]”に対する返信コマンドです。
 接続されているキーボードの種類を返信します。

Command DF
 Machine ID 0
 Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Japanese Keyboard	日本語キーボード
0	1	US Keyboard	英語キーボード

Request/Preset KEYBOARD TYPE SENSE [5F]

ERROR SENSE REQUEST

エラー状態が変わった場合に本コマンドを返信します。
制御機は ERROR SENSE[78]を送信してエラー内容を確認してください。

Command F0
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

CAUTION SENSE REQUEST

警告状態が変わった場合に本コマンドを返信します。
制御機は CAUTION SENSE[79]を送信して警告内容を確認してください。

Command F1
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

ILLEGAL STATUS

被制御機器に無効なコマンドまたはデータが送出された場合に本コマンドを返信します。
被制御機器から本コマンドが返信された場合、制御機器は仕様にあったコマンドまたはデータを送信し直してください。

Command F2
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

POWER ON STATUS

被制御機器の電源がオンになったことを通知するコマンドです。

Command F4
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

CHANGE STATUS

被制御機器の動作やモードが変化したことを通知するコマンドです。

Command F6
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Changed Mechanical Status	稼動状態が変化した
0	3	Changed Track	テイク/エントリー番号が変わった。
1	0	Changed Online Status	オンライン状態が変わった。

Request/Preset なし

ERROR SENSE RETURN

コマンド”ERROR SENSE [78]”に対する返信コマンドです。

最後のエラー状態を返信します。

Command F8

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	N2	エラー・コード(N1-N2N3)	
Data 2	N3	0-00	No Error (エラーなし)
Data 3	0	1-01	Rec Error (録音に関するエラー)
Data 4	N1	1-02	Device Error (デバイスに関するエラー)
		1-08	Stand-By Error (録音準備中のエラー)
		1-09	Information Write Error (録音終了処理中のエラー)
		1-FF	Other Error (上記以外のエラー。本体を確認ください)

Request/Preset ERROR SENSE [78]

CAUTION SENSE RETURN

コマンド”CAUTION SENSE [79]”に対する返信コマンドです。

最後の警告状態を返信します。

Command F9

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	N2	警告コード(N1-N2N3)	
Data 2	N3	0-00	No Caution (警告無し)
Data 3	0	1-02	Media Error (メディアに関するエラー)
Data 4	N1	1-03	Can't Undo (UNDOが出来ない)
		1-06	Media Full (メディアの残容量が無い)
		1-07	Take Full (テイクの容量上限に達した)
		1-09	D-In Unlock (デジタル入力がUNLOCK)
		1-0A	No Call Point (Callポイントが無い)
		1-0B	Can't REC (録音できない状態)
		1-0C	Write Protected (メディアが書き込み禁止)
		1-0D	Not Execute (機能実行できない状態)
		1-0F	Can't Edit (編集が出来ない状態)
		1-13	Can't Select (選択できない状態)
		1-14	Track Protected (トラックが保護されている)
		1-16	Name Full (名前設定の文字数制限が上限に達した)
		1-18	Play List Error (プレイリスト関連のエラー)
		1-1D	Not Audio (デジタル入力がオーディオではない)
		1-1E	Decode Error (再生に関するエラー)
		1-1F	Media Not Match (メディアが適合しない)
		1-FF	Other Caution (上記以外の警告。本体をご確認ください)

Request/Preset CAUTION SENSE [79]

VENDER COMMAND RETURN

COMMAND [7F]に対する返信コマンドです。次の「ベンダコマンド詳細」を参照ください。

ベンダコマンド詳細

HS-2/HS-2000 のベンダコマンドは、以下の様なフォーマットで構成されています。

Byte 1	Byte 2	Byte 3	Byte 4	Byte 5	Byte 6	Byte 7	Byte 8	Byte 9	...	Byte n
LF	ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	Data 5	...	CR
LF	'0'	'7F' or 'FF'	Category Code		Sub Command		Parameter	...	CR	

Category Code: ベンダコマンドを機能別に区分するためのカテゴリコード(2バイトの ASCII)

Sub Command: カテゴリ内でユニークなサブコマンドコード(2バイトの ASCII)

 デバイスセレクト(01)のみ Sub Command は無く、Data 3 以降が Parameter となります

Parameter: コマンドコードに付加するパラメタ(ASCII, 長さはサブコマンド毎に異なる)

Category Code の一覧は次のとおりです。

Category Code	カテゴリ区分	説明
01	デバイスセレクト	使用するデバイス(Slot 1 / 2)を選択します
02	セッション/プロジェクトセレクト	セッションやプロジェクトに係る動作をします
03	マーク	マークに係る動作をします
04	フラッシュスタート	フラッシュスタートに係る動作をします
05	オンライン	オンラインの選択
06	タイムコード設定	タイムコードの設定関連
07	再生設定	再生に関する操作
09	オペレーションモード	オペレーションモードの選択
10	メディア	メディアに関する操作
40	バウンス	バウンス
41	タイムライン編集	タイムライン上での編集動作(非破壊編集)
42	テイク編集	テイク上での編集(破壊編集)

DEVICE SELECT

カレントスロットを選択します。

選択結果として、リターン・コマンドを返信します。

※HS-2/HS-20 は SLOT1 が SD、SLOT2 が CF カードスロットになります。

Command 7F

Category Code 01

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 3	Data 4	内容	備考
0	0	SLOT 1	カレントスロットとして SLOT 1 を選択します。
0	1	SLOT 2	カレントスロットとして SLOT 2 を選択します。
F	F	Sense	カレントスロットを返信するように要求します。

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return DEVICE SELECT RETURN [FF01]

SESSION SKIP

セッションを切り替えます。

カレントセッションが最終セッション時、“00”を指定すると先頭セッションに移動します。

カレントセッションが先頭セッション時、“01”を指定すると最終セッションに移動します。

Command 7F

Category Code 02

Sub Command 1A

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 3	Data 4	内容	備考
0	0	Session next	次のセッションに移動します。
0	1	Session previous	ひとつ前のセッションに移動します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

DIRECT SESSION SEARCH PRESET

プロジェクト番号とセッション番号を指定してセッション移動します。

移動後は、移動開始時のモードを維持します。

Data 5～8(セッション番号)で“0000”を指定した場合、“PROJECT SELECT”コマンド(後述)となります。

Command 7F

Category Code 02

Sub Command 23

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	セッション番号の十の桁	セッション番号 例) 2301:セッション 123
Data 6	セッション番号の一の桁	
Data 7	セッション番号の千の桁	
Data 8	セッション番号の百の桁	

- ・プロジェクトに存在しないセッション番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・カレントセッションをセッション番号に指定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

PROJECT SELECT

プロジェクト番号を指定してカレントプロジェクトを変更します。

Command 7F

Category Code 02

Sub Command 23

Machine ID 0

Data 8 bytes

	内容	備考
Data 5	0000	PROJECT SELECT では固定値 “0000”を指定します
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 10	プロジェクト番号の一の桁	
Data 11	プロジェクト番号の千の桁	
Data 12	プロジェクト番号の百の桁	

- ・メディアに存在しないプロジェクト番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・カレントプロジェクトをプロジェクト番号に指定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

CREATE PROJECT

新規プロジェクトを作成します。

作成時の 1st Session Name とサンプリング周波数の設定は、後述する”1st Session Name Preset[7F024002]”と”Sampling Frequency Preset[7F024003]”で設定した値が使用されます。

それ以外はカレントのプロジェクト設定が使用されます。

実行開始時と終了時に被制御機は”CREATE PROJECT ACKNOWLEDGE[FF02C000]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 4000
 Machine ID 0
 Data なし
 Return CREATE PROJECT ACKNOWLEDGE [FF02C000]

1st SESSION NAME PRESET

新規プロジェクトを作成時の 1st Session Name を設定します。

”PROJECT CREATE[7F024000]”実行前に使用します。

Data 7/8 に FF が送信された場合は、被制御機は”1st SESSION NAME RETURN[FF02C002]”を返信します。

それ以外の場合は Data 7 以降に UTF-8 で最大 117byte 送信できます。(但し HS-2 の仕様により、半角英数字以外は指定できません。半角英数字以外を指定した場合、ILLEGAL COMMAND [F2]を返信します)

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 4002
 Machine ID 0
 Data 2 byte ~ 117 byte
 Return 1st SESSION NAME RETURN [FF02C002]

SAMPLING FREQUENCY PRESET

新規プロジェクトを作成時のサンプリング周波数を設定します。

”PROJECT CREATE[7F024000]”実行前に使用します。

Data 7/8 に FF が送信された場合、被制御機は”SAMPLING FREQUENCY RETURN[FF02C003]”を返信します。

※HS-2/HS-20 は、48kHz±0.1%の設定コマンドには対応していません。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 4003
 Machine ID 0
 Data 4byte

Data 7/8	Data 9/10	Data 11/12	内容	備考
44	00	00	44.1kHz	サンプリング周波数を 44.1kHz に設定します。
48	00	00	48kHz	サンプリング周波数を 48kHz に設定します。
48	00	10	48kHz-0.1%	サンプリング周波数を 48kHz-0.1%に設定します。(※)
48	00	11	48kHz+0.1%	サンプリング周波数を 48kHz+0.1%に設定します。(※)
88	00	00	88.2kHz	サンプリング周波数を 88.2kHz に設定します。
96	00	00	96kHz	サンプリング周波数を 96kHz に設定します。
76	01	00	176.4kHz	サンプリング周波数を 176.4kHz に設定します。
92	01	00	192kHz	サンプリング周波数を 192kHz に設定します。
FF			Sense	設定されているサンプリング周波数を要求します。

Return SAMPLING FREQUENCY RETURN [FF02C003]

MAKE SESSION

新規セッションを作成します。

作成するセッション名は後述する”SESSION NAME PRESET[7F024101]”で設定します。

作成の開始時と終了時に”MAKE SESSION ACKNOWLEDGE[FF02C100]”を返信します。

Command	7F
Category Code	02
Sub Command	4100
Machine ID	0
Data	なし
Return	MAKE SESSION ACKNOWLEDGE [FF02C100]

SESSION NAME PRESET

新規セッションを作成時のセッション名を設定します。

”MAKE SESSION[7F024100]”実行前に使用します。

Data 7/8 に FF が送信された場合、被制御機は”SESSION NAME PRESET RETURN[FF02C101]”を返信します。

それ以外の場合は Data 7 以降に UTF-8 で最大 117byte 送信できます。(但し HS-2 の仕様により、半角英数字以外は指定できません。半角英数字以外を指定した場合、ILLEGAL COMMAND [F2]を返信します)

Command	7F
Category Code	02
Sub Command	4101
Machine ID	0
Data	2 bytes ~ 117 bytes
Return	SESSION NAME PRESET RETURN [FF02C101]

REBUILD PROJECT

カレントプロジェクト/セッションのリビルドを行います。

リビルド開始時と完了時に”REBUILD PROJECT ACKNOWLEDGE [7F02C2]”を返信します。

Command	7F
Category Code	02
Sub Command	42
Machine ID	0
Data	なし
Return	REBUILD PROJECT ACKNOWLEDGE [7F02C2]

DELETE SESSION/PROJECT

プロジェクト/セッションを削除します。

プロジェクト削除をする場合はセッション場号に 0000 を指定して、Data9/10, 11/12 にプロジェクト番号を指定します。

削除開始時と完了時に”DELETE SESSION/PROJECT ACKNOWLEDGE [7F02C4]”を返信します。

Command 7F

Category Code 02

Sub Command 44

Machine ID 0

Data 4byte (Delete Session), 8byte (Delete Project)

[Data 長が 4 バイトのとき(Delete Session)]

	内容	備考
Data 5	セッション番号の十の桁	セッション番号 例) 2301:セッション 123
Data 6	セッション番号の一の桁	
Data 7	セッション番号の千の桁	
Data 8	セッション番号の百の桁	

[Data 長が 8 バイトのとき(Delete Project)]

	内容	備考
Data 5	0000	固定値 “0000”を指定します
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 10	プロジェクト番号の一の桁	
Data 11	プロジェクト番号の千の桁	
Data 12	プロジェクト番号の百の桁	

Return DELETE SESSION/PROJECT ACKNOWLEDGE [7F02C4]

SESSION No. STATUS SENSE

現在、位置しているプロジェクト/セッション番号を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 55
 Machine ID 0
 Data なし
 Return SESSION No. RETURN [FF02D5]

SESSION NAME SENSE

カレントプロジェクト内の指定セッションの名前を要求します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 59
 Machine ID 0
 Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	セッション番号の十の桁	セッション番号 例) 2301:セッション 123
Data 6	セッション番号の一の桁	
Data 7	セッション番号の千の桁	
Data 8	セッション番号の百の桁	

・カレントプロジェクトに存在しないセッション番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return SESSION NAME RETURN [FF02D9]

PROJECT NAME SENSE

指定したプロジェクトの名前を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 5A
 Machine ID 0
 Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 6	プロジェクト番号の一の桁	
Data 7	プロジェクト番号の千の桁	
Data 8	プロジェクト番号の百の桁	

・メディアに存在しないプロジェクト番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PROJECT NAME RETURN [FF02DA]

TOTAL SESSION No. SENSE

指定したプロジェクトの総セッション数を返信するよう要求します。

Data 5~8(プロジェクト番号)は省略可能です。省略した場合、カレントプロジェクト内のセッション数を要求します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 5D
 Machine ID 0
 Data なし or 4 bytes

[Data 長が 4 バイトのとき、以下の Data を付加します]

	内容	備考
Data 5	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 2301:プロジェクト 123
Data 6	プロジェクト番号の一の桁	
Data 7	プロジェクト番号の千の桁	
Data 8	プロジェクト番号の百の桁	

Return TOTAL SESSION No. RETURN [FF02DD]

TOTAL PROJECT No. SENSE

カレントメディア内の総プロジェクト数を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 5E
 Machine ID 0
 Data なし

Return TOTAL PROJECT No. RETURN [FF02DE]

MARK SET

被制御機器にマークをセットします。

タイムカウンターのカレントの位置にマークがセットされます。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 10
 Machine ID 0
 Parameter なし

DIRECT MARK SKIP PRESET

マーク番号を指定してマークスキップします。

マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

移動後は、移動開始時のモードを維持します。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 23
 Machine ID 0
 Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9900: マーク 99
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	

・ カレントテイク/エントリーに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

DELETE MARK

被制御機器のマークを削除します。

マーク番号を指定して削除が出来ますが、マーク番号の指定を省略すると現在位置の一つ手前のマークを削除します。

マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 44
 Machine ID 0
 Parameter なし or 4 bytes

[Parameter 4bytes の時]

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9900: マーク 99
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	

・ カレントテイクに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

MARK No. STATUS SENSE

現在位置の一つ手前のマーク番号を返信するよう要求します。

マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 55
 Machine ID 0
 Data なし
 Return MARK No. RETURN [FF03D5]

MARK TIME SENSE

指定したマークの時刻を返信するよう要求します。

マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 58
 Machine ID 0
 Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	指定番号の十の桁	マーク番号 例) 9900:マーク 99
Data 6	指定番号の一の桁	
Data 7	指定番号の千の桁	
Data 8	指定番号の百の桁	

・ カレントテイクに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return MARK TIME RETURN [FF03D8]

TOTAL MARK No. SENSE

カレントテイク内の総マーク数を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 5D
 Machine ID 0
 Data なし
 Return TOTAL MARK No. RETURN [FF03DD]

FLASH PAGE SELECT

被制御機器のフラッシュページを変更します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

オペレーションモードがタイムラインモードの場合は ILLEGAL[F2]を返信します。

Command 7F

Category Code 04

Sub Command 00

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

	内容	備考
Data 5	ページ番号の十の桁	フラッシュページ番号
Data 6	ページ番号の一の桁	例) 02: ページ 2

- ・ 被制御機器に存在しないページ番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return FLASH PAGE RETURN [FF0480]

FLASH PAGE SKIP

被制御機器のフラッシュページをスキップさせます。

Command 7F

Category Code 04

Sub Command 1A

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Flash Page Skip Next	次のページに移動します。
0	1	Flash Page Skip Previous	一つ前のページに移動します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

CURRENT ENTRY INFORMATION SENSE

現在、位置しているスロット番号を返信するよう要求します。

オペレーションモードがプレイリストモード以外の場合は ILLEGAL[F2]を返信します。

Command 7F

Category Code 04

Sub Command 57

Machine ID 0

Data なし

Return CURRENT ENTRY INFORMATION RETURN [FF04D7]

FLASH READY ENTRY SENSE

現在、フラッシュスタート可能なスロット・テイクの情報を返信するよう要求します。

返信されるのは現在のフラッシュページの情報になります。あらかじめ FLASH PAGE SELECT[7F0400]か FLASH PAGE SKIP[7F041A]で情報を取得したいフラッシュページを指定してください。

Command 7F

Category Code 04

Sub Command 5D

Machine ID 0

Data なし

Return FLASH READY ENTRY RETURN [FF04DD]

ONLINE SELECT

被制御機器のオンラインのオン/オフを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

※HS-2/HS-20 は、本コマンドには対応していません。

Command 7F

Category Code 05

Sub Command 11

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	ONLINE OFF	オンライン:オフ
0	1	ONLINE ON	オンライン:オン
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return ONLINE SELECT RETURN [FF0511]

CHASE SELECT

被制御機器のチェイスモードのオン/オフを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 06

Sub Command 00

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Chase OFF	チェイスモード:オフ
0	1	Chase ON	チェイスモード:オン
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return CHASE SELECT RETURN [FF0680]

OPERATION MODE SELECT

被制御機器のオペレーションモードを切り替えます。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

※HS-2/HS-20 は、オンエアモード切り替えには対応していません。

Command 7F

Category Code 09

Sub Command 00

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	TC Mode	タイムラインモード
0	1	Take Mode	テイクモード
0	2	Playlist Mode	プレイリストモード
1	0	On Air Mode	オンエアモード(※)
F	F	Sense	現在のオペレーションモードを返信するよう要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return OPERATION MODE RETURN [FF0980]

MEDIA REMAIN SENSE

被制御機の現在の選択されているデバイスのメディアの残り容量を返信するように要求します。

“MEDIA REMAIN RETURN [FF1081]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 10
 Sub Command 01
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return MEDIA REMAIN RETURN [FF1081]

MEDIA FORMAT

被制御機器の現在選択されているデバイスのメディアをフォーマットします。

実行開始時と終了時に被制御機が“MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE [FF10C4]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 10
 Sub Command 44
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Quick Format	クイックフォーマット
0	1	Full Format	フルフォーマット
0	2	Quick & Create Project	クイック&プロジェクト作成

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE [FF10C4]

RETAKE

被制御機でリテイクを実行します。

実行終了時に制御機器が“RETAKE ACKNOWLEDGE [FF1590]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 15
 Sub Command 10
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return RETAKE ACKNOWLEDGE [FF1590]

REGION SKIP

被制御機器のタイムライン、全リージョンの先頭、または最後にスキップします。

オペレーションモードがタイムラインモード以外では、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Command 7F
 Category Code 15
 Sub Command 1A
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Region End	最終リージョンの最後にスキップします
0	1	Region Top	先頭リージョンの先頭にスキップします

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

SET POINT

バウンスとタイムライン編集に使用するポイントを設定します。

Data 5/6 に FF が送信された場合、被制御機は次の Data 7/8 に応じて、ポイントの設定値を返信します。

Command 7F
 Category Code 40
 Sub Command 10
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

Data 5	Data 6	Data 7	Data 8	内容	備考
0	0			Clear Point	IN/OUT ポイントをクリア
0	1			Point IN	カレントポイントを IN に設定
0	2			Point OUT	カレントポイントを OUT に設定
0	1	F	F	Sense Point IN	IN ポイントの設定値を要求
0	2	F	F	Sense Point OUT	OUT ポイントの設定値を要求

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return POINT RETURN [FF4090]

BOUNCE

バウンスを実行します。

前述の"SET POINT IN [7F401001]" "SET POINT OUT [7F401002]" で設定された POINT IN-OUT 間でバウンスします。

バウンスするテイク名は後述する"BOUNCE TAKE NAME PRESET [7F402001]" で設定します。デフォルトではセッション名ですが、同名のテイクがある場合上書きされますので注意してください。

Data 7/8 でバウンス先を指定します。

実行開始時と終了時に"BOUNCE ACKNOWLEDGE [FF40A000]" を返信します。

Command 7F
 Category Code 40
 Sub Command 2000
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Current Session	バウンス先は現在のセッション

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return BOUNCE ACKNOWLEDGE [FF409000]

BOUNCE TAKE NAME PRESET

バウンステイク名を設定します。

本コマンドは"BOUNCE [7F402000]" 実行前に使用します。

Data 7/8 に FF が送信された場合は、被制御機が"BOUNCE TAKE NAME PRESET RETURN [FF40A001]" を返信し現在の設定を知らせます。

それ以外の場合 Data 7 以降に UTF-8 で 117bytes まで送信できます。(但し HS-2 の仕様により、半角英数字以外は指定できません。半角英数字以外を指定した場合、ILLEGAL COMMAND [F2] を返信します)

Command 7F
 Category Code 40
 Sub Command 2001
 Machine ID 0
 Parameter 1 bytes ~ 117 bytes

Data 7	Data 8	...	Data 123	内容	備考
				Name Set	Bounce Take 名の設定
F	F			Name Sense	Bounce Take 名の確認

Return BOUNCE TAKE NAME PRESET RETURN [FF409001]

TIME LINE CUT

タイムライン編集のカットを実行します。

前述の”SET POINT IN [7F401001]” “SET POINT OUT [7F401002]”で設定された POINT IN-OUT 間をカットします。

被制御機は実行開始時と終了時に” TIME LINE CUT ACKNOWLEDGE [FF41A0]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 41
 Sub Command 20
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return TIME LINE CUT ACKNOWLEDGE [FF41A0]

TIME LINE COPY

タイムライン編集のコピーを実行します。

前述の”SET POINT IN [7F401001]” “SET POINT OUT [7F401002]”で設定された POINT IN-OUT 間をバッファにコピーします。

被制御機は実行開始時と終了時に” TIME LINE COPY ACKNOWLEDGE [FF41A1]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 41
 Sub Command 21
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return TIME LINE COPY ACKNOWLEDGE [FF41A1]

TIME LINE INSERT

タイムライン編集のインサートを実行します。

カレントポイントに、前述の”SET POINT IN [7F401001]” “SET POINT OUT [7F401002]”で設定された範囲時間の無音または音声を挿入します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TIME LINE INSERT ACKNOWLEDGE [FF41A2]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 41
 Sub Command 22
 Machine ID 0
 Parameter 2byte

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Mute	無音を挿入
0	1	Buf	コピーした音声を挿入

Return TIME LINE INSERT ACKNOWLEDGE [FF41A2]

TIME LINE PASTE

タイムライン編集のペーストを実行します。

カレントポイントに前述の”TIME LINE COPY[7F4121]” でコピーされた範囲を上書きします。

被制御機は実行開始時と終了時に” TIME LINE PASTE ACKNOWLEDGE [FF41A3]”を返信します。

Command	7F
Category Code	41
Sub Command	23
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	TIME LINE PASTE ACKNOWLEDGE [FF41A3]

TIME LINE ERASE

タイムライン編集のイレースを実行します。

前述の”SET POINT IN [7F401001]” “SET POINT OUT [7F401002]”で設定された POINT IN-OUT 間を消去します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TIME LINE ERASE ACKNOWLEDGE [FF41B0]”を返信します。

Command	7F
Category Code	41
Sub Command	30
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	TIME LINE ERASE ACKNOWLEDGE [FF41B0]

TIME LINE UNDO

タイムライン編集の UNDO を実行します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TIME LINE UNDO ACKNOWLEDGE [FF41E0]”を返信します。

Command	7F
Category Code	41
Sub Command	60
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	TIME LINE UNDO ACKNOWLEDGE [FF41E0]

TIME LINE REDO

タイムライン編集の REDO を実行します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TIME LINE REDO ACKNOWLEDGE [FF41E1]”を返信します。

Command	7F
Category Code	41
Sub Command	61
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	TIME LINE REDO ACKNOWLEDGE [FF41E1]

TIME LINE EDIT SAVE

タイムライン編集結果の保存を実行します。

Command	7F
Category Code	41
Sub Command	70
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	なし

TAKE ERASE

カレントテイクのイレースを実行します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TAKE ERASE ACKNOWLEDGE [FF42B0]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 42
 Sub Command 30
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return TAKE ERASE ACKNOWLEDGE [FF42B0]

TAKE DIVIDE

テイク編集の分割を実行します。

カレントテイクの現在リハーサル位置で分割を行います。

カレント位置でリハーサル状態にしてから、実行して下さい。

被制御機は実行開始時と終了時に” TAKE DIVIDE ACKNOWLEDGE [FF42B1]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 42
 Sub Command 31
 Machine ID 0
 Parameter なし or 4bytes

Data 5	Data 6	Data 7	Data 8	内容	備考
				Execute	Divide を実行します
1	0	0	0	Rehearsal Stop	リハーサルを終了します
1	0	0	1	Rehearsal Start	カレントポイントでリハーサルを開始します

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TAKE DIVIDE ACKNOWLEDGE [FF42B1]

TAKE COMBINE

テイク編集の結合を実行します。

カレントテイクの後に指定テイクを結合します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TAKE COMBINE ACKNOWLEDGE [FF42B2]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 42
 Sub Command 32
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	テイク番号の十の桁	テイク番号 例) 1400:テイク 14
Data 6	テイク番号の一の桁	
Data 7	テイク番号の千の桁	
Data 8	テイク番号の百の桁	

Return TAKE COMBINE ACKNOWLEDGE [FF42B2]

TAKE UNDO

テイク編集の UNDO を実行します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TAKE UNDO ACKNOWLEDGE [FF42E0]”を返信します。

Command	7F
Category Code	42
Sub Command	60
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	TAKE UNDO ACKNOWLEDGE [FF41E0]

TAKE REDO

テイク編集の REDO を実行します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TAKE REDO ACKNOWLEDGE [FF42E1]”を返信します。

Command	7F
Category Code	42
Sub Command	61
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	TAKE REDO ACKNOWLEDGE [FF42E1]

DEVICE SELECT RETURN

コマンド”DEVICE SELECT [7F01]”に対する返信コマンドです。

カレントスロットを返信します。

スロットが変更されたときも自動返信します。

Command FF

Category Code 01

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 3	Data 4	内容	備考
0	0	SLOT 1	SLOT 1
0	1	SLOT 2	SLOT 2

Request/Preset DEVICE SELECT [7F01]

CREATE PROJECT ACKNOWLEDGE

コマンド”CREATE PROJECT [7F024000]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C000
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset CREATE PROJECT [7F024000]

1st SESSION NAME RETURN

コマンド”1st SESSION NAME PRESET [7F024002]”に対する返信コマンドです。
CREATE PROJECT 実行時の 1st セッション名を返信します。
Data 7 以降に UTF-8 で返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C002
Machine ID 0
Parameter 1 bytes ~ 117 bytes

Request/Preset 1st SESSION NAME PRESET [7F024002]

SAMPLING FREQUENCY RETURN

コマンド”SAMPLING FREQUENCY PRESET [7F024003]”に対する返信コマンドです。
CREATE PROJECT 実行時のサンプリング周波数を返信します。
※HS-2/HS-20 は、48kHz±0.1%の設定には対応していません。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C003
Machine ID 0
Parameter 4 bytes

Data 7/8	Data 9/10	Data 11/12	内容	備考
44	00	00	44.1kHz	サンプリング周波数を 44.1kHz。
48	00	00	48kHz	サンプリング周波数を 48kHz。
48	00	10	48kHz-0.1%	サンプリング周波数を 48kHz-0.1%。(※)
48	00	11	48kHz+0.1%	サンプリング周波数を 48kHz+0.1%。(※)
88	00	00	88.2kHz	サンプリング周波数を 88.2kHz。
96	00	00	96kHz	サンプリング周波数を 96kHz。
76	01	00	176.4kHz	サンプリング周波数を 176.4kHz。
92	01	00	192kHz	サンプリング周波数を 192kHz。

Request/Preset SAMPLING FREQUENCY PRESET [7F024003]

MAKE SESSION ACKNOWLEDGE

コマンド”MAKE SESSION [7F024100]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C100
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset MAKE SESSION [7F024100]

SESSION NAME PRESET RETURN

コマンド”SESSION NAME PRESET [7F024101]”に対する返信コマンドです。
MAKE SESSION 実行時のセッション名を返信します。
Data 7 以降に UTF-8 で返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C101
Machine ID 0
Parameter 1 bytes ~ 117 bytes

Request/Preset SESSION NAME PRESET [7F024101]

REBUILD PROJECT ACKNOWLEDGE

コマンド”REBUILD PROJECT [7F0242]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C2
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset REBUILD PROJECT [7F0242]

DELETE SESSION/PROJECT ACKNOWLEDGE

コマンド”DELETE SESSION/PROJECT [7F0244]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C4
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset DELETE SESSION/PROJECT [7F0244]

SESSION No. RETURN

コマンド”SESSION No. STATUS SENSE [7F0255]”に対する返信コマンドです。

現在、位置しているセッション番号を返信します。

Command FF

Category Code 02

Sub Command D5

Machine ID 0

Data 8 bytes

	内容	備考
Data 5	セッション番号の十の桁	セッション番号 例) 2301:セッション 123
Data 6	セッション番号の一の桁	
Data 7	セッション番号の千の桁	
Data 8	セッション番号の百の桁	
Data 9	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 10	プロジェクト番号の一の桁	
Data 11	プロジェクト番号の千の桁	
Data 12	プロジェクト番号の百の桁	

Request/Preset SESSION No. STATUS SENSE [7F0255]

SESSION NAME RETURN

コマンド”SESSION NAME SENSE [7F0259]”に対する返信コマンドです。

セッションの名前を返信します。

Data 9/8 以降にセッション名 (UTF-8) を返信します。

Command FF

Category Code 02

Sub Command D9

Machine ID 0

Data 5 bytes~119 bytes

	内容	備考
Data 5	セッション番号の十の桁	セッション番号 例) 2301:セッション 123
Data 6	セッション番号の一の桁	
Data 7	セッション番号の千の桁	
Data 8	セッション番号の百の桁	
Data 9 - Data123	タイトル	セッション名(UTF-8)

- ・タイトルは 2 バイト以上 115 バイト以下です。

Request/Preset SESSION NAME SENSE [7F0259]

PROJECT NAME RETURN

コマンド”PROJECT NAME SENSE [7F025A]”に対する返信コマンドです。

プロジェクトの名前を返信します。

Data 9/8 以降に UTF-8 でプロジェクト名を返信します。

Command FF
 Category Code 02
 Sub Command DA
 Machine ID 0
 Data なし
 Data 5 bytes～119 bytes

	内容	備考
Data 5	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 6	プロジェクト番号の一の桁	
Data 7	プロジェクト番号の千の桁	
Data 8	プロジェクト番号の百の桁	
Data 9 - Data123	タイトル	プロジェクト名(UTF-8)

・タイトルは 2 バイト以上 115 バイト以下です。

Request/Preset PROJECT NAME SENSE [7F025A]

TOTAL SESSION No. RETURN

コマンド”TOTAL SESSION No. SENSE [7F025D]”に対する返信コマンドです。

総セッション数を返信します。

Command FF
 Category Code 02
 Sub Command DD
 Machine ID 0
 Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	総セッション数の十の桁	Data 5 - Data 8 が 0000 の場合は、プロジェクトにセッションが含まれていないか、メディアが挿入されていないことを示します。
Data 6	総セッション数の一の桁	
Data 7	総セッション数の千の桁	
Data 8	総セッション数の百の桁	

Request/Preset TOTAL SESSION No. SENSE [7F025D]

TOTAL PROJECT No. RETURN

コマンド”TOTAL PROJECT No. SENSE [7F025E]”に対する返信コマンドです。

総プロジェクト数を返信します。

Command FF
 Category Code 02
 Sub Command DE
 Machine ID 0
 Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	総プロジェクト数の十の桁	Data 5 - Data 8 が 0000 の場合は、プロジェクトが含まれていないか、メディアが挿入されていないことを示します。
Data 6	総プロジェクト数の一の桁	
Data 7	総プロジェクト数の千の桁	
Data 8	総プロジェクト数の百の桁	

Request/Preset TOTAL PROJECT No. SENSE [7F025E]

SESSION/PROJECT CHANGE STATUS

セッション/プロジェクトが変更されたときに返信します。

変更後のセッション/プロジェクト番号を返信します。

Command FF

Category Code 02

Sub Command F6

Machine ID 0

Data 8 bytes

	内容	備考
Data 5	セッション番号の十の桁	セッション番号 例) 2301:セッション 123
Data 6	セッション番号の一の桁	
Data 7	セッション番号の千の桁	
Data 8	セッション番号の百の桁	
Data 9	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 10	プロジェクト番号の一の桁	
Data 11	プロジェクト番号の千の桁	
Data 12	プロジェクト番号の百の桁	

Request/Preset なし

MARK No. RETURN

コマンド”MARK No. STATUS SENSE [7F0355]”に対する返信コマンドです。

現在、位置しているマーク番号を返信します。

Command FF

Category Code 03

Sub Command D5

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9900: マーク 99
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	

Request/Preset MARK No. STATUS SENSE [7F0355]

MARK TIME RETURN

コマンド”MARK TIME SENSE [7F0358]”に対する返信コマンドです。

Command FF

Category Code 03

Sub Command D8

Machine ID 0

Data 12 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9900: マーク 99
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	
Data 9	時の十の桁	
Data 10	時の一の桁	
Data 11	分の十の桁	
Data 12	分の一の桁	
Data 13	秒の十の桁	
Data 14	秒の一の桁	
Data 15	フレームの十の桁	
Data 16	フレームの一の桁	

Request/Preset MARK TIME SENSE [7F0358]

TOTAL MARK No. RETURN

コマンド”TOTAL MARK No. SENSE [7F035D]”に対する返信コマンドです。

総マーク数を返信します。

Command FF

Category Code 03

Sub Command DD

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	総マーク数の十の桁	Data 5 - Data 8 が 0000 の場合は、テイクにマークが含まれていないか、メディアが挿入されていないことを示します。
Data 6	総マーク数の一の桁	
Data 7	総マーク数の千の桁	
Data 8	総マーク数の百の桁	

Request/Preset TOTAL MARK No. SENSE [7F035D]

FLASH PAGE RETURN

コマンド”FLASH PAGE SELECT [7F035D]”に対する返信コマンドです。
現在のフラッシュページを返信します。

Command FF
Category Code 04
Sub Command 80
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

	内容	備考
Data 5	ページ番号の十の桁	フラッシュページ番号
Data 6	ページ番号の一の桁	例) 02: ページ 2

Request/Preset FLASH PAGE SELECT [7F0400]

CURRENT ENTRY INFORMATION RETURN

コマンド”CURRENT ENTRY INFORMATION SENSE [7F0457]”に対する返信コマンドです。
現在位置しているテイク/エントリー番号を返信します。

Command FF
Category Code 04
Sub Command D7
Machine ID 0
Data 4 bytes

	内容	備考
Data 5	エントリー(テイク)番号の十の桁	Data 5 - Data 8 が 0000 の場合は、メディアが挿入されていないことを示します。
Data 6	エントリー(テイク)番号の一の桁	
Data 7	エントリー(テイク)番号の千の桁	
Data 8	エントリー(テイク)番号の百の桁	

Request/Preset CURRENT ENTRY INFORMATION SENSE [7F0457]

FLASH READY ENTRY RETURN

コマンド”FLASH READY ENTRY SENSE [7F045D]”に対する返信コマンドです。
登録済みのテイク/エントリーの情報を返信します。

Command FF
Category Code 04
Sub Command DD
Machine ID 0
Data 4 bytes ~ 119 bytes

	内容	備考
Data 5	テイク/エントリー番号の十の桁	情報を開示する先頭のテイク/エントリー番号 例) 2100: テイク/エントリー-21
Data 6	テイク/エントリー番号の一の桁	
Data 7	テイク/エントリー番号の千の桁	
Data 8	テイク/エントリー番号の百の桁	
Data 9 - Data123	テイク/エントリーデータ	データ 1 バイト(1 文字)で 1 つのテイク/エントリーのロード状態を示します。 “0” (30h): 登録無し “1” (31h): 登録有り 例: 20 個のエントリーの状態を示すには、“0”か“1”のデータが 20 バイト(20 文字)含まれます。

- ・ テイク/エントリーデータは 0 バイト以上 115 バイト以下です。
- ・ 先頭より前のテイク/エントリー、及びエントリーデータで示されなかったテイク/エントリーは全て“登録無し”です。

Request/Preset FLASH READY ENTRY SENSE [7F045D]

ONLINE SELECT RETURN

コマンド”ONLINE SELECT [7F0511]”に対する返信コマンドです。

オンラインのオン/オフ状態を返信します。

※HS-2/HS-20 は、本コマンドには対応していません

Command FF

Category Code 05

Sub Command 11

Machine ID 0/1

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	ONLINE OFF	オンライン:オフ
0	1	ONLINE ON	オンライン:オン

Request/Preset ONLINE SELECT[7F0511]

CHASE SELECT RETURN

コマンド”CHASE SELECT [7F0600]”に対する返信コマンドです。

チェイスモードのオン/オフ状態を返信します。

Command FF

Category Code 06

Sub Command 80

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Chase OFF	チェイスモード:オフ
0	1	Chase ON	チェイスモード:オン

Request/Preset CHASE SELECT [7F0600]

OPERATION MODE RETURN

コマンド”OPERATION MODE SELECT [7F0900]”に対する返信コマンドです。

現在のオペレーションモードを返信します。

オペレーションモードが変更されたときにも自動返信します。

※HS-2/HS-20 は、オンエアモード切り替えには対応していません。

Command FF

Category Code 09

Sub Command 80

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Time Line	タイムラインモード
0	1	Take	テイクモード
0	2	Playlist Mode	プレイリストモード
1	0	On Air Mode	オンエアモード(※)

Request/Preset OPERATION MODE SELECT [7F0900]

MEDIA REMAIN RETURN

コマンド”MEDIA REMAIN SENSE [7F1001]”に対する返信コマンドです。

カレントデバイスのメディア残り容量を返信します。

Command FF
 Category Code 10
 Sub Command 01
 Machine ID 0
 Parameter 10 bytes

	内容	備考
Data 5	デバイス番号十の桁	カレントのデバイス ID
Data 6	デバイス番号一の桁	
Data 7	残容量 GB の十の桁	メディアの残容量 例 16000000 = 16GB 例 00001205 = 512MB
Data 8	残容量 GB の一の桁	
Data 9	残容量 GB の千の桁	
Data 10	残容量 GB の百の桁	
Data 11	残容量 MB の十の桁	
Data 12	残容量 MB の一の桁	
Data 13	残容量 MB の千の桁	
Data 14	残容量 MB の百の桁	

Request/Preset MEDIA REMAIN SENSE [7F1001]

MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE

コマンド”MEDIA FORMAT [7F1044]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
 Category Code 10
 Sub Command C4
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset MEDIA FORMAT [7F1044]

RETAKE ACKNOWLEDGE

コマンド”RETAKE [7F1510]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
 Category Code 15
 Sub Command 90
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset RETAKE [7F1510]

POINT RETURN

コマンド”SET POINT [7F4010]”に対する返信コマンドです。

ポイントがセットされたときと SENSE で問合せを受けたときに返信します。

ポイントの時間情報を返信します。

ポイントが未設定の場合、返信コマンドだけが返信されます。(時間情報は付加されません。)

Command FF

Category Code 40

Sub Command 90

Machine ID 0

Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5/6	IN/OUT	01:IN ポイント 02:OUT ポイント
Data 7/8	時間	OUT ポイントの位置 例 0201234511 = 1h 23m 45s 11f
Data 9/10	分	
Data 11/12	秒	
Data 13/14	フレーム	

Request/Preset SET POINT [7F4010]

BOUNCE ACKNOWLEDGE

コマンド”BOUNCE [7F402000]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 40

Sub Command A000

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset BOUNCE [7F402000]

BOUNCE TAKE NAME PRESET RETURN

コマンド”BOUNCE TAKE NAME PRESET [7F402001]”に対する返信コマンドです。

バウンスするテイク名を返信します。

Data 7 以降に UTF-8 で返信します。

Command FF

Category Code 40

Sub Command A001

Machine ID 0

Parameter 2 bytes ~ 117 bytes

Request/Preset BOUNCE TAKE NAME PRESET [7F402001]

TIME LINE CUT ACKNOWLEDGE

コマンド”TIME LINE CUT [7F4120]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 41

Sub Command A0

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TIME LINE CUT [7F4120]

TIME LINE COPY ACKNOWLEDGE

コマンド”TIME LINE COPY [7F4121]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 41

Sub Command A1

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TIME LINE COPY [7F4121]

TIME LINE INSERT ACKNOWLEDGE

コマンド”TIME LINE INSERT [7F4122]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 41

Sub Command A2

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TIME LINE INSERT [7F4122]

TIME LINE PASTE ACKNOWLEDGE

コマンド”TIME LINE PASTE[7F4123]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 41

Sub Command A3

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TIME LINE PASTE [7F4123]

TIME LINE UNDO ACKNOWLEDGE

コマンド”TIME LINE UNDO [7F4160]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 41

Sub Command E0

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TIME LINE UNDO [7F4160]

TIME LINE REDO ACKNOWLEDGE

コマンド”TIME LINE REDO [7F4161]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 41

Sub Command E1

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TIME LINE REDO [7F4161]

TIME LINE EDIT SAVE ACKNOWLEDGE

コマンド”TIME LINE EDIT SAVE[7F4170]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 41

Sub Command F0

Machine ID 0

Parameter 2bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TIME LINE EDIT SAVE [7F4170]

TAKE ERASE ACKNOWLEDGE

コマンド”TAKE ERASE [7F4230]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 42
Sub Command B0
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TAKE ERASE [7F4230]

TAKE DIVIDE ACKNOWLEDGE

コマンド”TAKE DIVIDE [7F4231]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 42
Sub Command B1
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TAKE DIVIDE [7F4231]

TAKE COMBINE ACKNOWLEDGE

コマンド”TAKE COMBINE [7F4232]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 42
Sub Command B2
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TAKE COMBINE [7F4232]

TAKE UNDO ACKNOWLEDGE

コマンド”TAKE UNDO [7F4260]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 42

Sub Command E0

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TAKE UNDO [7F4260]

TAKE REDO ACKNOWLEDGE

コマンド”TAKE REDO [7F4261]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF

Category Code 42

Sub Command E1

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset TAKE REDO [7F4261]

DATE	DOC Ver.	CONTENTS
2014/12/10	1.20	HS-20/HS-2000 コマンドに対応 7F024003: SAMPLING FREQUENCY PRESET に 48kHz±0.1%設定を追加 コマンド追加 7F1510: RETAKE 7F151A: REGION SKIP
2016/05/16	1.21	7F0242: REBUILD PROJECT コマンドを追加 誤記修正 23: DIRECT TRACK SEARCH PRESET(Data 長 4 バイト時のサーチ後のモードを修正) 2C: TIME SEARCH PRESET(Data 長 12 バイト時のサーチ後のモードを修正) FF1590: RETAKE ACKNOWLEDGE 記載漏れ 7F4010: SET POINT、RETURN “FF4190” -> ”FF4090”に修正 7F4231: TAKE DIVIDE、記載漏れ/パラメーターを追記